

今月の

## ブックトーク

## 3月3日はなんの日？

鈴木 千尋／和光小学校学校司書

3月3日といえば、ひなまつり。でも、実は耳の日でもあるのです。みみという語呂合わせと、3の字が耳の形に似ているのが由来。耳の不自由な人へ関心を持ってもらうために制定されました。昨年11月には東京デフリンピックも開催されましたね。

「水まきジイサンと図書館の王女さま」の主人公



丸山 正樹・作  
高杉 千明・絵  
偕成社

美和のお父さん・アラちゃんの仕事は手話通訳士。アラちゃんは、両親、兄ともに耳が聞こえず自分だけが聞こえる人だったため、子ども時代から手話を使っていたのです。そんなアラちゃんに美和と友だちの英知は手話を習いました。英知は人前言葉が発せなくなる場面かんもく

症のため、2人は手話で会話するようになりました。ある日、近所の猫があちこちで嘔吐する事件が発生します。土しかない花壇に毎朝水をまく水まきジイサンと呼ばれる変わり者のおじいさんが、毒を入れたのではと噂が立ちます。2人は事件の真相を探ろうとする中で、耳の聞こえないおばあさんと出会います。手話で会話すると、水まきジイサンの知り合いとわかり…？ 2人は真相にたどり着けるでしょうか？ 巻末にはお話にでてきた手話や指文字の一覧も載っています。

さて手話は日本に2種類あるって知っていますか？ 手話は国によって異なり、日本には“日本手話”“日本語対応手話”があります。その違いや、音が聞こえるメカニズムなど、耳のことを知ることができるのが「聞くのが楽しくなる耳のひみつ」です。動物の耳についても載っていて、象が大きな耳を



今泉 忠明・監修  
植木 美江・絵  
創元社

パタパタさせる理由やイルカやコウモリが超音波を発して位置確認するやり方なども紹介されています。耳のお手入れや休ませ方もありますので、耳を大切にケアしたいですね。

そんな大事な耳に、あるものが入ってしまったら？



葦原 かも・作  
中田 いくみ・絵  
童心社

「どんなイチゴも、みんなかわいい」3年生のアヤは畑のすみになっていたジュズダマの実を、何気なく右の耳に入れてみました。するとぴったりハマって、取れなくなってしまう。焦ったものの、誰にも言わず髪で隠して、翌朝そのまま学校へ。すると、跳び箱が飛べたり、劇でやりたい役に立候補

できたり！ 普段より勇気が出て、いつもの自分じゃないみたい。これはジュズダマの魔法でしょうか？ でも、耳の中で芽や根が出てきたらどうしようと心配でもありました。一体どうなるのでしょうか。他にもアヤと友だちの楽しいお話が2つ。読むと自分の毎日まで愛おしく感じられる素敵な1冊です。

最後に紹介するのは「子どもに聞かせる世界の民話」から“王子さまの耳は、ロバの耳”妖精の贈り物のせいで、ロバの耳が生えてしまった王子。帽子で耳を隠し続けていましたが、ある時床屋に耳を見られてしまいます。内緒にするよう言われたものの、秘密にし続けるのがつらくなった床屋は、穴を掘ってその中にその秘密を何度も叫びました。後日羊飼いは、そこから生えたアシで笛を作ると、ひとりでに笛が「王子さまの耳はロバの耳」とうたい、町中に広まってしまいます。床屋と王子さまはどうなってしまうのでしょうか？ ぜひ読んでみてください。



矢崎 源九郎・編  
実業之日本社

最後のページのクイズの答え

Q1 ② 100円硬貨

Q2 ① ペリール

Q3 ② 魔除けの色で、悪いものが近寄らな

いようにするため

Q4 ② 穴が開いていることから、先を見通せるように

※「今月のブックトーク」「図書館クイズ」は、全国学校図書館協議会Webサイトに掲載しています。QRコードより、PDFもご利用ください。

